

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

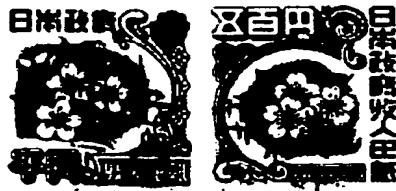
Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

公開実用 昭和49- 66419



(1,500円)

実用新案登録願 (1)

昭和47年9月20日

特許庁長官 殿

考案の名称

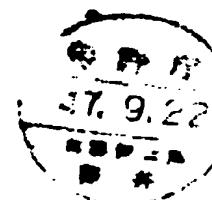
ヘッドホンクッション

考案者

イオ カヤウイク
大阪府八尾市北久宝寺1丁目4番33号

ホシアンヤ セイゾウ
星電機製造株式会社内

イン
機
オオ
同
所
大
上
ニシ
大
上
周
ヤス
面
周
ヤス
三
三
オ
夫



実用新案登録
出願人

イオ カヤウイク
大阪府八尾市北久宝寺1丁目4番33号

ホシアンヤ セイゾウ
星電機製造株式会社

坂崎社長 フル ヘン
吉 機 トト

代理人

東京都新宿区百人町一丁目19番13号 (浅川ビル)
TEL 東京 (363) 0580

6615

弁理士 草野卓

添附書類の目録

1	明細書	1通
2	図面	1通
3	委任状	1通

47 110002

明細書

1

1. 考案の名称

ヘッドホンクツション

2. 実用新案登録請求の範囲

クツションの少くとも一面が通気性布で被われ、⁵
上記クツションの他面の周辺部にこれに沿つた軟
質合成樹脂フィルムよりなる巾広のリング状保持
部が配され、該保持部と同質材の組み抑え部と該
保持部とが上記通気性布の周縁部を挟み互に接着
されてなるヘッドホンクツション。¹⁰

3. 考案の詳細を説明

この考案はヘッドホンの耳との対接部に取付け
られるクツションに関する。

ヘッドホンクツションは耳との当りが軟らかで
かつ音の漏れがないことが要求されるが、その他
安価で、しかも汚れた場合は洗うことができ又は
取替えるために取外し自在にされることが望まれ
る。¹⁵

この考案ヘッドホンクツションは安価で取外し
ができ、しかも丈夫なものを得んとするものであ
る。²⁰

る。

以下この考案によるヘッドホンクッションにつき裏面を参照して説明しよう。

第1図において1は左右の耳の一方に当てられるべきヘッドホン本体を示し、本体1の耳との対₅裏面1aにヘッドホンクッション2が取付けられる。ヘッドホンクッションは例えば耳との対接面1aの略全面と対向して合成樹脂材のスポンジなどの弾性材よりなる厚い円板状のクッション3が載され、クッション3の外面即ち耳と対接されるべき面及び裏面はナイロン糸や綿糸を織つた通気性布4にて被われる。₁₀

この考案においてはクッション3の耳と対向せざる面の周辺部と対向して軟質合成樹脂フィルム、例えば塩化ビニルフィルムよりなる巾広のリング状保持部5が配される。この保持部5と同質材の織い抑え部6により通気性布4の周縁部を挟み互に接着される。即ち通気性布4の周縁部は外方に僅か折曲げ延長され、この延長部を保持部5の外周部及び抑え部6にて挟んで接着される。₁₅

₂₀

(2)

この構成によれば、保持部 5 とタッショング 3 と 1
の間に、本体 1 の耳との対接面 1-1 に一体に形成
した周縁 7 を嵌め込み、ヘッドホンタッショングが
本体 1 に取付けられる。保持部 5 として軟質合成
樹脂材が使用され、よつて合成樹脂材の弾性、伸 5
縮性を利用して、ヘッドホンタッショング 3 を本体
1 に容易に着脱できる。

タッショング 3 は通気性布 4 で被われているため、
汚れた場合は通気性布 4 のみを洗い、又は取替え
ることができる。また通気性布 4 が耳部分と対接
するため、長時間使用しても汗ばむことがない。
通気性布 4 の代りに人造皮革を使用する時は、高
価な上に長時間使用すると汗ばむ。

更にこの考案ヘッドホンタッショングは丈夫なものとなる。即ち通気性布 4 と保持部 5 とのみを熱
溶着させる場合は溶融温度差により通気性布 4 と
保持部 5 とのなじみが悪く、剥れ易いものとなる。
しかしながらこの考案ヘッドホンタッショングにおいては同質材の保持部 5 と抑え部 6 とで通気性布
4 が挟まれ、この通気性布 4 の目を通して保持部 15
20

5と抑え部6とが互に熱接着され、これ等三者は1
強固に一体化される。

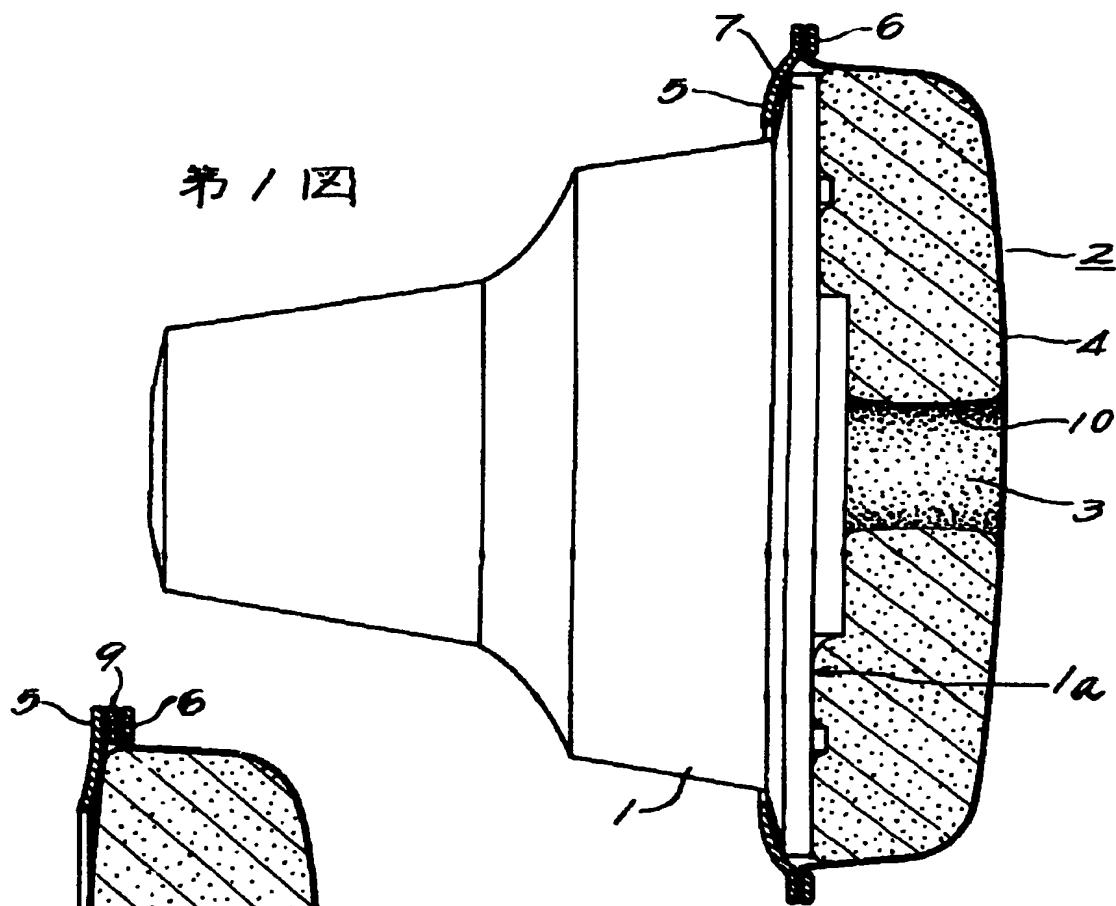
第2図に示すようにタツション3の両面も通気性布4, 8で被う場合は、これ等布4, 8の間縫部を保持部5及び抑え片6で挟むと共に布4, 8, 5の間縫部の間に更に保持部5と同質材のリング状補助片9を介在させて全体を熱接着するとよい。タツション3としては第1図、第2図に点線にて示すように、中心孔10を形成したものを使用してもよい。またリング状タツションが使用され、10その内周面にも通気性布が被われた場合にも本考案は適用できる。

4. 図面の簡単な説明

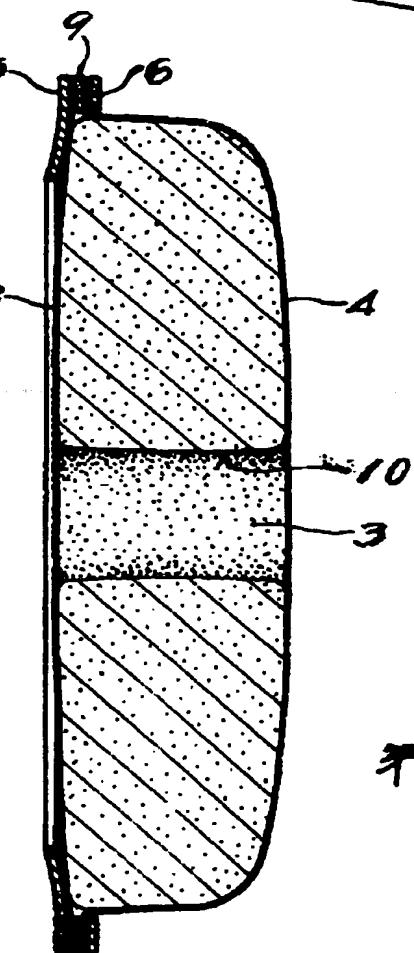
第1図はこの考案によるヘッドホンタツションの一例を示す断面図、第2図はその他の例を示す15断面図である。

1: ヘッドホン本体、2: ヘッドホンタツション、3: タツション、4: 通気性布、5: 保持部、6: 押え部。

第1図



第2図



66419